

職務経歴書

令和 5年 9月 19日 現在

氏名：藤井 健人

■キャリアサマリ

5名程度の小さなWeb制作会社からプログラマーのキャリアをスタートし、複数のプロジェクトに参画。その後10名程度のアーリーステージベンチャーに転職しクラウドインフラ等の社内の床下整備に従事し、200名規模への組織の成長に伴い求められる役割に応えフロントエンド/バックエンド/SRE/データ整備/マネジメントのポジションを一通り担当。現在は、多国籍企業に転職し英語を用いた開発に従事。

■得意とする分野・スキル

得意とする分野はDevOps。サービスを安定稼働させながら、ユーザーのフィードバックを迅速に取り入れて新機能や改修をスピーディに反映する為の技術的な取り組みに強みを持つ。またフロントエンド/バックエンド問わず自動テストの整備や、クラウドインフラを利用した自動化が好きで、PMFに達するまでの探索的な開発やビジネス環境の変化に素早く適応できるシステムの柔軟性担保を実践してきた。

分類	名称	実務経験	詳細
担当業務	要件定義	8年6ヶ月	チームリーダー/メンバーとして顧客とのやり取り経験あり。
	基本設計	9年	
	詳細設計	9年	
	実装	9年	
	テスト	9年	
	運用保守	9年	
	OS	Linux Mint	
macOS		8年	通常使用に問題なしで、指導も可能
言語	HTML / CSS	4年	一人称で作業可能。レビュー可能。
	Ruby	8年	一人称で作業可能。レビュー可能。 プライベートでRubyライブラリを公開した経験あり。
	JavaScript / TypeScript	4年	一人称で作業可能。レビュー可能。
	Python	6年	一人称で作業可能。レビュー可能。
	Java / Scala	1年	調べながらであれば作業可能。 プライベートでJavaライブラリを公開した経験あり。
	PHP	6ヶ月	調べながらであれば作業可能。
	フレームワーク	Ruby on Rails	8年
React / Next.js / Cypress		2年	一人称で作業可能。レビュー可能。 Cypressはプライベートで半年。
Scrapy		5年	一人称で作業可能。レビュー可能。

	Play Framework	6ヶ月	調べながらであれば作業可能。
--	----------------	-----	----------------

その他	SQL(MySQL/PostgreSQL)	9年	パフォーマンスチューニングまで対応できる。
	AWS / GCP	7年	通常使用に問題なし。 IaCによる管理体制の構築も可能。
	StatusCake / New Relic / Opsgenie	7年	通常使用に問題なし。 監視・オンコール体制の構築経験あり。
	Kubernetes	1年	プライベートで1年。 通常使用に問題なし。
	Terraform	6年	一人称で作業可能。レビュー可能。 GitOpsによる自動化を推進できる。
	CircleCI / GitHub Actions	8年	一人称で作業可能。レビュー可能。 GitOpsによる自動化を推進できる。
	Ansible	6年	一人称で作業可能。レビュー可能。 GitOpsによる自動化を推進できる。
	Docker	6年	0からDockerfileを構築、配布可能。
	Git	9年	通常使用に問題なし、指導も可能。
	Figma	1年	調べながらであれば作業可能。

■職務経歴①

2023年3月～現在 楽天グループ株式会社(正社員)

【従業員数】2万人

【担当部署】ライフメディア開発部

期間	主な職務内容
2023年3月～ 現在	<p>■プロジェクト内容</p> <p>26年の歴史を持つ新卒採用関連のtoC、toB向けWebサービス。基本設計からAPI作成、DB連携、工数出し、ページ作成、機能実装、テスト実装など、バックエンドからフロントエンドの業務まで全てを担当。オンプレ・プライベートクラウド環境にてJenkinsやGrafanaを用いた運用や障害調査を担当。またチーム外のコミュニケーションを要する業務は英語を用いて遂行。</p> <p>■言語/環境</p> <p>フロントエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - jQuery <p>バックエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - PHP - Phalcon - MySQL <p>その他</p>

	<ul style="list-style-type: none"> - Docker - Git - Jenkins - Grafana <p>■組織/役割</p> <p>【組織】</p> <p>部署40名 開発チーム9名</p> <p>【役割】</p> <p>メンバー</p> <p>■実績</p> <p>26年の歴史を持つWebサービスを開発するにあたって以下のような課題点があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - フレームワークが用いられていないコードがある。 - テストコードや静的解析ツールの不在。 - 詳細設計ドキュメント作成コストの肥大。 - 手動テスト実施による開発生産性の低下。 <p>そのような課題点がある中で、通常業務と並行しPHPUnitによるテストコードの実行基盤をフルスクラッチから整備しテストカバレッジを5%まで高めることで、詳細設計書とテスト項目書の作成コスト肥大化を抑制。また担当部署共通で利用を検討されていた静的解析ツールを用いてバグの発生確率を統計的に計測する仕組みをチームリーダーにデモすることで、導入の優先度を上げ運用に載せることができた。</p> <p>■工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> - 全社的な方針による制約からパブリッククラウドが利用できない状況下で、LeanやDevOpsといった開発・運用スタイルが適用できる範囲を模索した。 - LeanやDevOpsといった開発・運用スタイルが及ぼす生産性へのインパクトを定量的に説明し、ツールの導入を提案・実施した。
--	---

■職務経歴②

2016年11月～2023年2月 イタンジ株式会社（正社員）

【従業員数】 200名

【担当部署】 開発部

期間	主な職務内容
2022年5月～ 2023年2月	<p>■プロジェクト内容</p> <p>新規事業プロダクトの拡販計画に伴い、該当チームへ中途参画。不動産業界における賃貸契約の更新・退去を自動化するtoB/toC向けWebサービスの企画・開発・運用を担当。</p>

	<p>■言語/環境</p> <p>フロントエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - React - Next.js - TypeScript - Sass <p>バックエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Ruby on Rails - MySQL <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - Figma - AWS - CircleCI - Terraform <p>■組織/役割</p> <p>【組織】</p> <p>部署10名 開発チーム4名</p> <p>【役割】</p> <p>メンバー</p> <p>■実績</p> <p>当該チームへの異動には以下の背景があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ライバル企業の模倣を避けるため、広告をあえて打たず初期ユーザーとステルスで併走し高速でPMFを達成する電撃戦を実施。 - PMFから拡販するにあたってフロントエンド/バックエンド/インフラにおける技術面の課題を解決するシニアメンバーの不足。 <p>そのような課題点がある中で、MVPの開発以来1年間ほど原因不明とされた画像処理のバグを、チームへのジョイン直後OSSの中身を読み解くことで原因特定しパッチを当て解決。カスタマーサクセスチームのメンバーと協働し顧客から上がる月20件ほどの課題/要望を精査した上で、社内のUX/UIを担うデザイナーチームと協働し新機能を企画しリリース。さらにSREやデータエンジニアであった職務経験を生かし、一日20回ほど出現していたデータベースのスロークエリの可視化/原因特定/撲滅を行い、再発防止の監視設定などを行った。</p> <p>■工夫した点</p> <p>開発リーダーと新卒2名という開発組織だったため、開発リーダーを補佐する行動を心掛けた。具体的にはコードレビューやリリース作業、運用における課題解決を積極的に巻き取り、リーダーがチケットの管理や企画・マネジメントに専念できる体制を維持した。</p>
--	---

期間	主な職務内容
----	--------

<p>2021年6月～ 2022年5月</p>	<p>■プロジェクト内容</p> <p>SREチームが片手間で運用していた、顧客データを自社に取り込むシステムの信頼性向上の需要高まりに応じ、専任チームの立ち上げとETLツールへのマイグレーションを実施。</p> <p>インターン4～5名含めた9名規模のETL開発部署のビジョン/ミッションを策定し、全社的に適用されたInput-KPIに沿ってOKR/KPI/ロードマップ/マイルストーンを規定。その上でスクラムを利用しチーム運営を担当。</p> <p>■言語/環境</p> <p>バックエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Ruby on Rails - Fluentd - Embulk - Digdag - Scrapy <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - AWS - GCP - GitHub Actions - Zyte <p>■組織/役割</p> <p>【組織】</p> <p>チーム9人</p> <p>【役割】</p> <p>リーダー</p> <p>■実績</p> <p>専任チーム立ち上げの背景として、以下のような課題があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 顧客が持つデータを自社システムに取り込む必要があるが、データの連携に必要な処理が複雑化していた。 - データの連携処理が顧客の新規獲得と共に厚みを増し、データの連携に失敗した際の原因特定にかかる時間も比例して大きくなった。 - 顧客の新規獲得に必要なデータの連動処理の実装を効率化しつつ、データの連携に失敗した際に素早く原因を特定し連動を再実施する仕組みを構築する必要がある。 <p>そのような課題点がある中で、Webアプリケーションに内包されたバッチシステムをTreasure Data社製のOSSへの載せ替えを実施し、日次で600ワークフローかつ6TBのデータサイズを扱うバッチシステムの、ログ確認容易化・リトライ制御の容易化・モニタリングの容易化を達成した。併せてCS組織を巻き込み顧客起点のエスカレーション発生時の社内的なコミュニケーションフローを最適化する施策を実施し、マンスリーで30件のエスカレーションチケットの発生を50%まで圧縮した。</p> <p>■工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> - 顧客の新規獲得に必要なデータの連動処理の設定を効率化するため、設定ファイルの用意のみでデータの連動設定が完結する仕組みを構築することで、インターンのメンバーのみで業務を完結できる仕組みを構築し、後々Webアプリ化しビジネスメンバーのみで業務を完結できる仕組みの構築余地を用意した。
-----------------------------	--

期間	主な職務内容
2017年4月～ 2021年6月	<p>■プロジェクト内容</p> <p>入社5ヶ月後、システムの床下を管理していた開発メンバーの退職に伴い、社内の床下整備の役割に軸足が移った。SREという職責の元、クラウドの管理・運用やシステム監視の自動化・オンコール体制の構築を担当。</p> <p>■言語/環境</p> <p>バックエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Ruby on Rails - MySQL - Scrapy <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - AWS - CircleCI - Terraform - Ansible - Docker - New Relic - StatusCake - Opsgenie - Zyte <p>■組織/役割</p> <p>【組織】</p> <p>開発チーム5~20名 SREチーム1~6名</p> <p>【役割】</p> <p>リーダー</p> <p>■実績</p> <p>自社システムを運用するにあたって、下記のような課題があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 障害対応が一部メンバーに偏ることによる運用ノウハウの偏り。 - クラウドの運用が手動で実施されていたことによるオペレーションミス。 - サーバーの中身を手動構築することによる、インフラ構築・運用ノウハウの喪失。 <p>そのような課題点がある中でログを集計しメトリクスを策定し、監視を設定し障害発生時の可視化を行った。またクラウドの設定ミスが問題になった際にInfrastructure as Codeを全社的に適用し、IaaSの変更に必ずレビューが入る体制を構築し、IaaSに意図しない変更や負荷が生じた際に通知やオンコール担当者へ電話が鳴る仕組みを構築した。仮想マシンで構築されたSSHサーバーやFTPサーバーを精査し、同様にコード管理する仕組みを構築した(顧客法人向けのFTPサーバーの移行に伴っては、20社程のテクニカルサポートと併せて実施)。単一のリポジトリや単一の仮想マシンに内包された複数の基盤サービスを、コンテナ技術で分離しIaaSのコンテナサービスへの載せ換えを実施した。</p>

	<p>■工夫した点</p> <p>インフラ管理への異動に伴い、監視技術・コンテナ技術・IaCといったスキルを余暇に自発的に開発し、求められる役割に柔軟に対応した。入社当時の10社から700社を超える法人顧客を抱える3つの自社プロダクトに対しこれらのプラクティスを適用したことで、コスト削減・開発スピード向上・障害リスク軽減といった付加価値を生んだ。</p>
--	--

期間	主な職務内容
2016年11月～ 2017年3月	<p>■プロジェクト内容</p> <p>不動産業界における管理業者支援SaaSプロダクト開発を担当。新規機能の開発やプロトタイプング、テストの自動化の推進を担当。</p> <p>■言語/環境</p> <p>フロントエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - jQuery - React <p>バックエンド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Ruby on Rails - MySQL <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - CircleCI <p>■組織/役割</p> <p>【組織】</p> <p>開発チーム5名 担当プロダクト開発チーム2名</p> <p>【役割】</p> <p>メンバー</p> <p>■実績</p> <p>PMFに達するまでの探索的な開発によるコードの品質低下、デグレのリスクが課題としたため、テストコードの実行基盤をフルスクラッチで構築し、CIによるテスト自動化と静的解析を実施。また新規事業のSaaSプロダクトのプロトタイプングを行い、機能要件としてFAXIによるQRコード発行機能の技術検証、非機能要件として仮想DOMの技術検証を行った。</p>

■職務経歴③

2016年9月～2016年11月 株式会社ゴーリスト（正社員）

【従業員数】20名

【担当部署】メディア開発部

期間	主な職務内容

<p>2016年9月～ 2016年11月</p>	<p>■プロジェクト内容 人材業界向けのメディアのエンハンス開発チームに配属。該当メディアと自社データ基盤を接続するためのPoCを担当。</p> <p>■言語/環境 フロントエンド - React - WordPress</p> <p>バックエンド - Ruby on Rails - MySQL</p> <p>■組織/役割 【組織】 部署5名 開発2名</p> <p>【役割】 メンバー</p> <p>■工夫した点 自社のデータ基盤は高頻度で発生するアクセスには不向きなため、メディアサイトから直接アクセスすることを避け、中間にキャッシュ用のアプリを立てる方針でPoCを進めた。</p>
------------------------------	--

■職務経歴④

2015年1月～2016年8月 株式会社オイアクス（正社員）

【従業員数】5名

【担当部署】開発部

期間	主な職務内容
<p>2015年1月～ 2016年8月</p>	<p>■プロジェクト内容 う。大規模採用管理システム開発の開発引き継ぎ案件や、アニメーション制作の業務管理システムを2名チームによるスクラッチ開発、プログラミングセミナーの助手を担当。サイトマップ作成/ワイヤーフレーム作成/プロトタイプングから、機能実装/テスト実装を行う。</p> <p>■言語/環境 フロントエンド - jQuery</p> <p>バックエンド - Ruby on Rails - MySQL</p> <p>■組織/役割</p>

	<p>【組織】</p> <p>部署5名 開発5名</p> <p>【役割】</p> <p>メンバー</p> <p>■工夫した点</p> <p>探索的な開発に耐えるシステムの柔軟性を担保するため、テストコードの拡充を心掛けた。特にjQueryによるクライアント側の処理に厚みが出た際は、Mocha / Chai / Sinonを用いて自動テストを実施した。</p>
--	--

■自己PR

現場で必要とされる開発スキルを余暇で自発的に開発し、求められる役割に柔軟に対応してきました。開発に閉じた業務だけでなく顧客との電話/メールのコミュニケーションやBizメンバーの客先訪問に同行し、エンブラ案件における課題解決に貢献してきました。

さらにCS組織を巻き込みCS/開発それぞれの課題や要望を汲みとり、SaaSにおける顧客起点のエスカレーション発生時の、社内的なコミュニケーションフローを最適化する施策を実施しました。

業務に関わる方々の気持ちを汲みとり寄り添う共感力を生かし、職責に囚われず自発的に業務遂行できる人材と自負しております。

藤井健人

E-mail: kent.where.the.light.is@gmail.com
 LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/KentFuji>
 GitHub: <https://github.com/KentFuji>

以上